

Title	ピアノ用楽譜の難易度評価手法の研究
Author(s)	宮川, 洋平
Citation	
Issue Date	2003-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/460
Rights	
Description	Supervisor:西本 一志, 知識科学研究科, 修士

本研究の目的はピアノ用楽譜の難易度を評価する手法を見つけることである。長い間ピアノレッスンを受ける対象は子どもが主流であった。しかし最近では大人になってから初めてピアノを弾きたいと考える人も少なくない。実際に今ではピアノ教室で大人向けのコースが用意されている所も多い。また、対象を大人に絞ったピアノ教材や雑誌も珍しくない。しかしそのような人たちは、時間的制約などからピアノレッスンに通い続けることが難しい、あるいは十分に練習の機会を持てないことが多い。時間的制約にとらわれず、自宅で自由な時間にピアノレッスンを受けられるような環境が、そういう人たちにとって理想の環境であると考えられる。そのような環境を実現するための方法のひとつとして、コンピュータによるピアノ練習支援が考えられる。音楽研究分野においては、ピアノ演奏の一部をコンピュータが手伝ってくれるような、演奏支援という形の研究はいくつか行われている。したがって本研究では、ピアノ用楽譜の難易度を評価するための手法について述べる。まず、ピアノ用楽譜に含まれる要素と、ピアノ演奏経験者による評価結果をもとにピアノ用楽譜を評価するための評価関数を決定する。そして、つの未知曲をその関数で評価する。未知曲に対する評価結果を元に、この評価手法の有効性について論じる。